



平成28年2月21日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ:http://www.tfd.metro.tokyo.jp

主な掲載内容

<1面>～平成27年中の出火原因～ガステーブルからの着衣着火火災が増えています!
<2面>エアハイパーレスキューが発隊! 消防技術安全所一般公開 消防団員募集のお知らせ
消防少年団員募集中! 春の火災予防運動 プレゼントコーナー

～平成27年中の出火原因～ ガステーブルからの 着衣着火火災が増えています!

ガステーブル*、ロウソク、電気ストーブなどの利用中、これらの器具に近づきすぎて、衣服に火がつき受傷する火災が発生しています。

過去10年間の着衣着火による死者は57人で、そのうち65歳以上の高齢者は50人(87.7%)と9割近くを占めています。

なお、平成27年中の着衣着火の発生件数は、66件で7人の死者が発生しています。

*ガステーブルとは、ガステーブル(オープン機能付含む)、1ログスこんろ、カセットこんろをいいます。

平成27年中の出火原因(速報値)

1位 放火 ↓1,013件
(前年比368件減少)

2位 たばこ ↓660件
(前年比50件減少)

3位 ガステーブル ↑458件
(前年比43件増加)

着衣着火による死者の9割近くは高齢者



着衣着火による死者の年齢区分別人数
(平成18年～平成27年)※平成27年は速報値

着衣着火の原因ワースト4

※東京消防庁管内 平成18年から平成27年の10年間(平成27年は速報値)

① ガステーブル

着衣着火火災件数 302件

火災事例1



居住者がガステーブルで調理していた際、着ていた上衣の右袖部分がこんろの火に接触し着衣着火しました。居住者は、火のついた上衣を脱いでシンクに移してから、水道の水で消火しました。

火災事例2



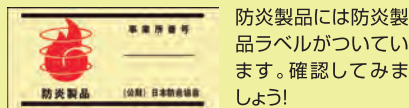
居住者がガステーブル奥の窓を開けた際、鍋をかけたこんろに右脇腹付近が接触し、着衣着火しました。居住者は濡れタオルで消火しましたが、完全に消火できず脱衣し、居合わせた夫がくすぶっていた衣類等に水をかけ消火しましたが居住者は火傷を負いました。

防災製品を身につけよう

防災製品(防災性能のある寝具類やエプロンやアームカバーなど)は、受傷の被害軽減に、大変有効です。



防災製品の試験(アームカバー)



防災製品には防災製品ラベルがついています。確認しましょう!

※各種防災製品の取扱い業者に関する情報は最寄りの消防署にお問合せください。

② ライター

着衣着火火災件数 67件

居住者がこたつに入りたばこを吸おうとライターの火をつけたところ、手元がくると、着ていた上衣に着衣着火しました。



③ ロウソク

着衣着火火災件数 55件

居住者が仏壇前にお供机上のロウソクに火をつけたまま、仏壇の汚れを拭こうとしたところ、右腕がロウソクの火に接触し着衣着火しました。



④ 電気ストーブ

着衣着火火災件数 34件

居住者が着ていた上衣の背中部分が電気ストーブに触れた状態になり着衣着火しました。



もし火がついてしまったら…!

- ・すぐにたたき消して水をかけるか、火のついた着衣を脱いで、衣服に水をかけましょう。
- ・床に寝転がり、左右に転がることも有効です。
- ・やけどをしてしまった場合は、むりに着衣を脱がず、服の上から水をかけましょう。

エアハイパーレスキューが発隊!

エアハイパーレスキューとは?

東京消防庁では、さらなる消火・救助・救急業務の高度化を目指し、航空消防救助機動部隊(エアハイパーレスキュー)を創設し、平成28年1月6日の東京消防出初式で発隊しました。航空消防救助機動部隊は、江東区と立川市に分散配備され、空中消火装置、大量救出用ゴンドラなど特殊な資器材を配備しています。また、陸上からでは対応困難な災害においても、ヘリコプターの機動力を最大限に活かし、迅速かつ効果的な消火・救助・救急活動を展開します。



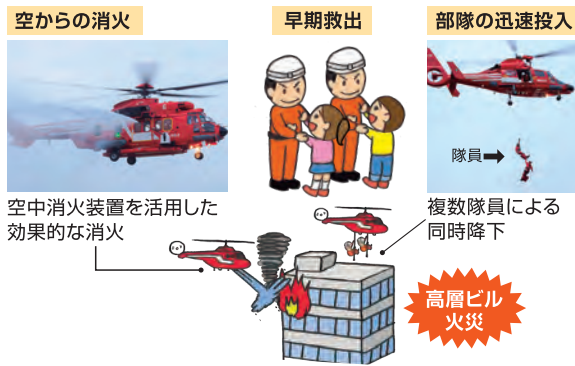
部隊員宣誓の様子



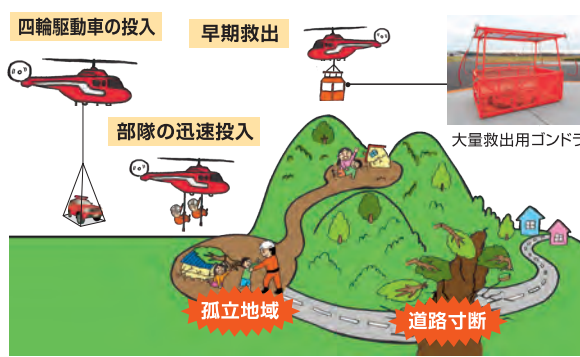
舛添東京都知事より記念品の贈呈

エアハイパーレスキューの活動

高層建築物火災における活動



孤立地域・島しょ地域における活動



テロ等による多数傷病者発生時の活動

- 直近医療機関だけでは対応できない場合にも、広域的な傷病者搬送を実施します。
- 陸路の混雑に左右されず、空から迅速に部隊・資器材を投入し、救助活動を実施します。



隊長インタビュー

航空消防救助機動部隊長
貴志 健児さん



エアハイパーレスキューは、ヘリコプターに搭乗し、空から人命救助を行う「空の救助部隊」です。その使命は、専門部隊として、いかなる災害に対しても迅速確かな消防活動を遂行することです。皆さんの期待に応えるよう、また、「世界一、安全安心な都市東京」を目指し、部隊員一丸となり努力して参ります。

イベントのお知らせ

消防技術安全所一般公開

「消防技術安全所」では、都民の安全・安心を守るとともに、災害現場における隊員の安全確保と効果的な活動を推進するため、科学的な技術改良・検証等を行っています。



一般公開(入場無料・事前申し込み不要)

消防技術安全所の実験施設や実験資器材を活用した実験実演、各種検証成果の展示等を行います。

〈日時〉平成28年4月23日(土)9:30~15:30
 〈場所〉消防技術安全所(渋谷区幡ヶ谷1-13-20)
 ※詳細は、3月末頃、東京消防庁消防技術安全所ホームページに掲載予定です。
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gijyutuka/>

春の火災予防運動 3/1~3/7

都民の皆様に関心を持っていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。



平成28年春の火災予防運動ポスター

消防演習を行います

一日消防署長に女優の菊池桃子さんをお迎えし、大規模な消防演習を実施して消防隊・消防団等とともに火災予防を呼びかけます。

〈日時〉平成28年3月1日(火)9:40~11:45
 〈場所〉シーフォートスクエア(品川区東品川2-3-10)
 〈イベント内容〉自衛消防訓練、消防演習、広報展示、音楽隊コンサート等

消防団員募集のお知らせ

〈入団条件〉①年齢18歳以上の方 ②健康な方 ③消防団の区域内に居住、勤務又は通学している方

〈問合せ先〉市町村にお住まいの方は各市町村まで、23区内にお住まいの方は最寄りの消防署まで。詳しくは 東京消防庁HP「首都東京を守る消防団」
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-danka/index.html>



特別区学生消防団活動認証制度をご存知ですか?

この認証制度は、特別区の消防団員である大学生、大学院生、専修学校生、各種学校生が行っている消防団活動の功績を東京消防庁が認証し、就職活動を支援することを目的として、平成27年4月1日から始めました。

消防少年団員 募集中!

小学生から高校生までの団員が、消防の仕事や防火・防災について楽しく学んでいます。入団の方法や活動内容など、詳しくはお近くの消防署へお問い合わせください。



お楽しみ プレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で**5名様**に、「東京消防庁オリジナル 割烹着」をプレゼント!!

〈応募方法〉はがきに ①住所 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤職業 ⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。
 〒100-8119(住所不要)東京消防庁広報課「広報とうきょう消防」編集担当

〈ポイント〉防災製品なので、燃えにくく、フリーサイズで使いやすい割烹着です。

防火性能認定品



〈締切〉平成28年3月8日(月)必着(応募はお1人様につき1枚といたします。)

〈当選発表〉プレゼントの発送をもって発表といたします。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用いたします。

前回(第19号)プレゼントコーナーへの沢山のご応募ありがとうございました。

